

---

**開放**

ケニーD

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
開放

【Nコード】  
N9419Z

【作者名】  
ケニード

【あらすじ】  
動ナビ5号として書いていたネタの改稿版です。

ふと思い出しました。

中学生時代のことです。学校指定のカバンがあり、自分を含め皆も当然それを持って学校へ行っていたわけですが、なんかちよつと人と違うような色を求めてしまうのか、バツジやなんやらと付けている生徒もいて、自分もまあ、真似をしたりはしていました。

カバンの中身、教科書とか弁当箱を丸見えにしていたのもわざとです。開けっ放しにしてだらしなさを装っていたのかも知れませんが、それを見かねたのか、友人が「開いているよ」とわざわざ注意してきましたよ。

この状態で中身が落ちるわけがないし、何かが入ったところで問題もないし、これくらいでなんだよといったい、と思いながら「わざとだよ」と返事。

まあそれで彼は納得したのかどうなのか、それ以上何も言わなかったんですが、家に帰ったところで、自分の股間のファスナーが開いているのに気づきました。

こつちのことかよ！ わざとって答えちゃったよ！ ちゃんと注意してくれよ！ と怒りと羞恥でいっぱいでしたね。

自分が変態なのは事実ですが、そういう忘れっぽいところとかはちよつと違うんです。開けるなら中身も出すっつーの！ くそ、ちゃんとやってくれれば。

その後、誤解がとけたとかそういうのもないのですが、思い込みって怖いですね。

皆さんもドアとかカバンとか、開くものに注意してください。思い違いで失敗するかも知れませんが。

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9419z/>

---

開放

2011年12月30日01時48分発行